

## 総 社 市 教 育 委 員 会 会 議 録

- 1 開 会 令和5年6月26日 午後1時30分
- 2 閉 会 令和5年6月26日 午後3時00分
- 3 場 所 学校給食センターえがお 2階 会議室
- 4 出席又は欠席した委員  
出席委員  
教育長 久 山 延 司  
教育長職務代理者 三 宅 眞砂子  
委 員 児 島 塊太郎  
委 員 大 山 敬 子  
委 員 剣 持 江利奈
- 5 会議に出席した者  
教育部長 加治佐 一 晃  
教育部参事兼教育総務課長  
藤 原 直 樹  
教育部参事兼部活動地域移行推進室長  
平 田 壮太郎  
学校教育課長 在 間 恭 子  
こども夢づくり課長 浅 野 竜 治  
教育総務課主幹 高 谷 直 樹
- 6 会議録署名委員  
久 山 延 司 大 山 敬 子
- 7 議事の概要 別紙のとおり

【開会 午後1時30分】

◆久山教育長 ただいまから教育委員会を開会いたします。まず、会議録の署名委員についてですが、会議録署名委員は、会議規則第16条の規定により、私のほか出席委員中、大山委員をお願いします。

では、早速ですが、私からの報告をさせていただきます。まず、学校訪問ではお世話になり、ありがとうございました。学校現場で授業をしている風景を見る機会は、私が教育長になってからは、初めての取組みだったのですがどうでしたでしょうか。

◆児島委員 自分が、小学校時代に過ごした時代と、授業のやり方も、先生方の指導の仕方も、かなり違っていると感じました。子供たちが落ち着いて授業を受けている風景を見ると、昔、先生の言うことを聞かなくて、あちこち走り回ったりしている学生もいましたけれども、今はおとなしい感じを受けました。

◆剣持委員 常盤小学校へ行きましたが、1クラスの参観の時間が、すごく短かったです。ゆっくりと見られなかったのですが、それでも思ったより、ざわざわすることなく1年生から6年生まで授業をしていると感じました。本当に教室がきれい、学校自体がきれいで、勉強する環境はすごくいいと思いました。ただ、ひとりだと迷うくらい、校舎が大きくて建物もいくつもあって、初めて来た先生は大変だろうと思いました。いい経験になり、ありがとうございました。

◆大山委員 私は総社東中学校に行かせて頂きましたが、本当に子供たちは明るく落ち着いている。問題を抱え込んで入れない子がグラウンドで支援員の人と見ていたりとか、支援の手が総社は特に充実していると私は思っています。その分、落ち着いた状態が保てているのかという気がして、教育には人の手が多数要するという感じを受けました。

◆久山教育長 ありがとうございました。毎年、機会を作りたいと思っています。落ち着いているとか、おとなしいなという、ちょっと一昔前とは違う状況ですが、ある意味それはいい面でもあり課題でもあります。主体性とか自ら積極的に表現する活動にもっと力を入れていかないといけないと思っています。総社市に限らないことですが、今の学校教育の課題かと思っています。それから、学校がきれいで環境が整っているということをおっしゃってくださいましたが、どこの学校へ行っても校舎は古いですが、それなりに工夫し整えてくださっていると思います。次に義務教育学校ですが、制服か、校旗など小委員会で色々細かいことを決めていっているところですが、大きなところとして、教育の方針として義務教育学校になっても英語特区は継続し、昭和幼稚園は英語特区ではないですが、義務教育学校になったら幼稚園を含めて英語特区にする計画です。市外からでも県外からでも行くことが出来る、そういう学校になります。中学校の英語特区10周年で保護者や生徒にアンケートをしました。その中で、学区外から来た生徒の保護者にアンケートをした時に、なぜ昭和中学校を選んだかという問いがあり、圧倒的に多かったのがやはり小規模であるということ。その次が、英語の力をつけさせたい、自然環境豊かなところで学習させたいから、この3つが

非常に多かったです。英語特区ということで力を入れてきましたが、昭和の自然環境ということは、あまり意識して教育に取り入れたわけではないです。義務教育学校になるにあたって、英語特区に力を入れていくと同時に、環境教育ということにも力を入れていきたいと保護者のニーズも踏まえて、そういうことを今回の議会でも答弁しました。もうひとつ大きなことで、閉校式をどうするか、開校式をどうするか、という問題を協議しています。色々な意見があって、閉校式は、その学校を閉めるため2度とないことです。まとめてではなく、一校一校別々に、維新小学校、維新幼稚園、昭和小学校、昭和幼稚園を閉める。昭和中学校も学校を閉める。その上で新しい「昭和五つ星学園義務教育学校」が出来るという考え方に基づいて進めています。同じ日で時間をずらす、日にちをずらす、また、一緒にしたらいいという地域の声も一部ではあります。そういうところが大きな課題です。開校式は4月中に出来たらと思っています。それから、義務教育学校の設立とは別に、維新小学校、維新幼稚園の跡地の問題があります。色々なご意見を頂いたりしています。廃校になると議会でも話をしていきますから、民間からも問い合わせがあったり、スポーツクラブから問い合わせがあったりしています。今はまだ、混沌としている状況です。民間のこともあったりしますから、教育委員会でこの跡地問題に対応するというのではなくて、全庁体制で、副市長と私とで協議しながら進めていくという状況です。それから、今年になり県外からの視察が多く入りました。ほとんどが、「だれもが行きたくなる学校づくり」の研修をさせて欲しいと。7月6日は滋賀県日野町から町長、教育長、課長などが来られます。14日は札幌市から市議会議員、24日は京都府綾部市から市議会議員が来られます。9月13日は札幌市教育委員会が来られます。これはすべて、「だれもが行きたくなる学校づくり」です。不登校が全国的に増えているので、この課題を解決するための方策を探っておられるのだらうと思います。私からの報告は以上です。

◆加治佐部長 それでは、6月の定例市議会につきまして、一般質問が終わりましたので、その概要についてご説明させていただきます。15、16、19日の3日間、一般質問がございました。今回の議会のメインの質問が人口増、人口減少対策といったところで、教育に関する質問もいくつか出てきているところでございます。まず、小川議員から、お祝い品について質問がございました。新生児や小学校一年生に対して、お祝い品をあげてはどうかと。それによって、人口増につなげられるのではないかという趣旨です。回答といたしましては、まず、新生児については、「出産の玉手箱」という答弁をしたのですけれども、なにかしら、出産時にあげられるようにしてはどうかということのをこれから検討していくとこととでございます。他の市町村を見てもみると、おむつをあげている自治体がございます、おむつをあげることで定期的な訪問につなげて、子供の様子を市役所が把握していくとこととをやっている自治体が多く、それについて、総社市では「出産の玉手箱」ということと出来ないかということのを検討しているところでございます。また、新小学一年生につきましては、ランドセルを贈ってはどうかということと、ご質問がございました。ランドセルを今は5月とか6月とかから「ラン活」と言うそうのですけれども、予約というものを取り始めてい

る状況だそうです。そういったことを踏まえて、希望者に贈ってはどうかということですが、こちらについては教育委員会から、子供の気に入ったものを購入するものと考えているので、就学援助の制度もご活用頂きながら、各家庭においてご購入頂きたいと返しております。次に、山名議員からご質問がありました。保護者の負担を減らすために、入学時の準備情報を就学時健診などに提供したらどうかというところでございます。実際のところ、11月の就学時健診の時に行うのは難しいところではありますけれども、早目に行うということは必要だと思いますので、各小学校のHPにおいて、過年度の新入生の情報を掲載すると答弁させて頂いております。次に、山田議員から、療育という障害児の通所支援についてのご質問がありました。障害福祉の一環としまして、障害児に対して日常動作に対する訓練ですとか支援というものを行うために、児童発達支援、放課後等デイサービスといったものがございます。こちらについて、現在利用者数が増加しているところがございます。これからどうしていくのかご質問がございました。現在のところ、児童発達支援、放課後等デイサービスが始まったのが、平成24年からですけれども、相当増えているという傾向にはございます。一方で、まだ市内で見ますと、一月当たり利用可能な延べ人数は、約8割が利用、2割は空きがあるという状況でございました。ただ一方で、一部の事業者に利用者が偏るなど、必ずしも希望通りのサービスが受けられていないこともあるかと思っておりますので、今後、第3期の総社市障がい児福祉計画というものを策定することになっているのですけれども、その中で保護者のニーズなど聞き取りながら検討してまいりたいと考えていると回答しております。次に、高谷議員からご質問がございました。自転車のヘルメットについての質問でございまして、中学生は通学で自転車を使っておりますけれども、相当数ヘルメットを着けているかと思うのですけれども、まだ、大人の方とかを見ていると着けていない方が多いというところがございます。条例などの制定はどうかということで、検討してまいりたいということをして市長から答弁しておりますので、なにかしら条例が出来るかもしれないです。次に、岡崎議員からのご質問が、図書館についてございました。図書館について、電子書籍を入れてはどうかというところがございます。昨今、なかなか開館時間中に行くことが出来ない方がいらっしゃるのと理由で、電子書籍というものが全国的にも、相当普及しているところで、導入がないのは秋田県、福井県、岡山県3県のみだそうでして、他の県においては、何らかの電子書籍というものを導入しているそうでございます。それを踏まえて、岡山県についてもどうかというところがございます。導入については、市長から、これだけ世の中がDXと言っている中、避けては通れないだろうと答弁させて頂いておりますが、1冊あたり相当高く、すぐにやるとは言えない状況でございます。教育委員会の質問ですけれども、GIGAスクール構想の中で、学校で使うということではできないかという質問がございました。これにつきましては、教育長から朝読書などでの活用を想定して、岡山県が過去に実施していたのですけれども、2年間で終了したということがありまして、教育委員会の意識改革がないと進まないだろうという形で答弁させて頂いております。次に、仁熊議員からも図書館に関する質問がございました。少し前にニュースになっていたのですけれども、地方交付税

の中で学校図書の購入費というものが算定されているのですけれども、それが適切に使われていない自治体が57%に上るというニュースがありまして、それを踏まえての質問でございます。学校図書について学校図書館図書標準という平成5年に文科省が策定したものがあのですけど、それを満たしている学校は市内にあるのかというものです。これはすべての学校について満たしてございました。また、図書購入費として地方交付税交付金があるが総社市は適正に使われているかという問いに対しまして、令和5年度予算で調べてみますと655万1000円を予算として計上しているところでございますので、適正に使われると判断していると回答しております。次に、三宅議員から質問がございまして、幼稚園給食についてでございます。三宅議員も、幼稚園に訪問してみて、本当にやってよかったということをおっしゃってくれておられました。特に見ていた限り、問題はあまりないように見えたけれども、新たな課題はあるかというところで質問がございました。教育長から、メニューによって残食が多い日があること、あるいは職員の負担になっているということも挙げられており、それぞれの対応策についても回答させて頂いているところでございます。また、食育の取り組みについて、どういったものがあるかというところで、食育の例を三宅議員がおっしゃった後に、追加に何かありますかという形で振られておりました。家庭に対する食育ということも、教育長から答えさせていただいております。ラッピングカーと言ったらよいのでしょうかね、給食の配送車に、コンテナ車ですとかあるいは軽四も使っているのですけれども、それにデザインを募って、デザインを車に張り付けてみてはどうか、という提案がございました。これについては検討してまいりたいと返しているところでございます。最後に、三上議員から質問がございまして、これが人口増対策についてでございます。まず、過疎化が進む地域における、学校の課題は何かというところで、市長、教育長のほうから数件答えさせて頂いているところでございます。教育特区以外の小規模校について、どのような取り組みを今後、進めていくのかということについて質問がございました。先般、決定頂きました、第3次教育振興基本計画の中で、取り組みを進めていくということを書いていることを踏まえての質問でございます。これにつきまして、令和6年度から人口減少地域の学校から順次、コミュニティ・スクールを導入するという形で回答させて頂いております。今年度中に人口減少地域の、いくつかの学校をコミュニティ・スクール化することになります。教育特区のほかの、人口が多い地域から児童を呼び寄せる取り組みは何かという点について、ご質問がございました。これについては、通学区域に関係なく通学を認める小規模特認校制度ですとか、あるいは、2つの学校の境界に近い地域の児童生徒はどちらの学校にも通えるようにするという、通学区域の弾力化について検討していると、回答させて頂いております。また、こちらも給食に関連する話ですけれども、人口減少地域の話の中に、ちょっと給食が入ってくるような質問でしたので、この順番に並べさせて頂いているのですけれども、アレルギー対応と教職員の負担の観点から、支援員の配置は十分かというところで質問がございました。アレルギー対応につきましては、医師会から医師を招聘して研修を実施するという、しっかり保護者と給食センターで面談を実施して除去食

ですとか、代替食の対応を行っている」と回答させて頂いております。支援員につきましては、大規模園を中心に配置しており、今後の園の状況ですとか、あるいは保護者や地域の方のボランティアということをやっている園もございますので、他園にも働きかけてまいりたいと回答させて頂いております。続いて、学校の魅力アップのための新規事業は何かという質問がございました。こちら、先ほどお話ししたコミュニティ・スクール導入のほか、学校自由交付金の特色事業分について、人口減少地域の学校へ重点的に配分するというのを今年度から行ってまいりますので、それについて回答させて頂いております。また、教育長から報告がありました昭和中学校のアンケートの話ということも、こちらで回答させて頂いております。五つ星学園義務教育学校へ移行した後も、英語特区と自然環境を中心とした環境教育ということ、新たな特色として掲げていきたいと回答しております。次に、長野県伊那市の例を持ち出されまして、小規模特認校制度について知っているかというような問いがございました。最後に、「だれ行き」の話が先ほどありましたけれども、「だれ行き」について賛否両論の意見があるが、どのように認識しているのか。そういうところで回答させて頂いているところでございます。以上でございます。

◆久山教育長 一般質問での議会答弁について説明をしてもらいましたが、この件について何か、ご質問、ご意見はございませんか。

◆児島委員 ケーブルテレビで見えていたけど、誰が聞いても納得できるお話をされていたように記憶しています。

◆久山教育長 山名議員の就学準備は、もっともだと思いました。初めての子供さんが入学する時それは不安もあるだろうし、少しでも情報が欲しい、早く情報が欲しいというのは非常にお気持ちもよくわかる。出来ることはしていきましょうと。

◆三宅委員 保育園のおむつのことについてですけれど、今はおむつの持ち帰りのところがほとんどですね。一枚ずつ、名前を書いて持ち帰っていると思っていたのですが。今は、おむつは持ち帰らずに、業者が処理をしてくれるという取組みが広がってきていると感じます。感染対策としても非常にいいと思います。

◆久山教育長 前、話題になったことがありましたね。

◆浅野こども夢づくり課長 去年、確か話題になりまして、今市内ではおむつは自園で処理の対応をしています。中央保育所が、6月から自園になりました。4月末まで持ち帰りをしていたのですが、市内は今、自園処理をしています。去年の年末くらいにニュースになりました、そこからいろいろ対応してきたところです。

◆久山教育長 幼稚園でもあるでしょう。

◆浅野こども夢づくり課長 幼稚園は何人かいるとは聞いていますが。

◆久山教育長 ほかの保育園は。

◆浅野こども夢づくり課長 自園で処理をしています。認可保育園はすべて自園で処理をしています。

◆久山教育長 そういう方向には進んでいるということですね。ほかに何かありますか。こ

の件は終わりました、そのほかで、報告事項はございませんか。

それでは、次回の教育委員会の日程ですが、7月24日（月）午後2時00分から総社小学校 3階多目的室で開催いたしますので、ご参集願います。なお、会場は総社小学校へ変更させていただきましたので、よろしく願います。

次に、8月の教育委員会の日程について場所も含めて調整したいと思いますが、事務局から提案願います。

\*\*\* 8月の教育委員会について日程調整\*\*\*

◆久山教育長 それでは、8月の教育委員会は、8月23日（水）午前10時00分から開催いたします。

これで審議がすべて終了いたしました。教育委員会を閉会いたします。ありがとうございました。

【閉会 午後3時00分】